



<第31回>

### 「セクハラ」 言葉では知っているけれど…

「男女雇用機会均等法」では、働く女性が性により差別されることなく、その能力を十分発揮できる雇用環境を確保するため、女性労働者の就業に関して配慮すべき措置を規定しています。職場で行われる性的な言動に対する女性労働者の対応によって、女性労働者が労働条件で不利益を受けたり、性的な言動により就業環境が害されたりすることがないように、事業主は次のような配慮をしなければなりません。

職場におけるセクシュアルハラスメントに関する方針を明確化し、労働者にその方針の周知・啓発を行うこと。

相談・苦情への対応のための窓口を明確にすること。また相談・苦情に対し、その内容や状況に応じて適切かつ柔軟に対応すること。

職場におけるセクシュアルハラスメントが発生した場合に、その事案の事実関係を迅速かつ正確に確認し、適切に対応すること。

プライバシーの保護に留意するとともに、女性労働者が相談・苦情を申し出たことを理由として不利な扱いを受けないよう特に留意すること。

セクシュアルハラスメントに関する相談は  
厚生労働省 新潟労働局 雇用均等室  
(☎025-234-5928) へ。

## 立ち上られ！バイオリサーチパーク②

# ハセツブ HACCPコーディネーター 養成ワークショップを開催

## 新潟 バイオリサーチパーク 推進機構 株式会社



▶ワークショップでは、講師と参加者が熱心に話し合う姿が見られました。



バイオリサーチパーク構想の推進母体として、第三セクター方式で今年四月に設立された「新潟バイオリサーチパーク推進機構株式会社」では、バイオテクノロジーを軸とした地域産業の活性化を支援することを目的に、さまざまな事業を行っています。

九月三日から五日まで、食品安全性の向上を支援・促進するために「HACCPコーディネーター養成ワークショップ」が市内で開催されました。

HACCPとは、食品ごとにその安全を脅かす要因（天然毒素や残留農薬、病原細菌など）を明らかにして、製造過程の最適な時点で必要な限界内にコン

トロールし、それを検証・記録するシステムです。今回は、日本HACCPトレーニングセンター理事長で新潟薬科大学応用生命科学部教授の田中信任さんらを講師に迎え、企業におけるHACCPチームの中心となるコーディネーターの養成を目的として、効果的なHACCP計画の作成と運用を学ぶために、講義やグループディスカッションが行われました。

ワークショップには、県内の食品関連会社の社員など二十七名が参加し、自社製品の安全性の確保とそれに伴って得られる品質維持・改善や業務効率の向上を目指して、熱心に取り組んでいました。

### 新津市の人口

	平成15年8月31日現在(前月比)	前年同月比
男	32,577 (+13)	(+89)
女	35,155 (-10)	(± 0)
計	67,732 (+3)	(+89)
世帯数	21,606 (+13)	(+312)
8月中の動き		
出生	50	死亡 37
転入	132	転出 142
結婚	15	離婚 9

身近な自然 豊かなカルチャー

## 花と遺跡のふるさと公園

### 新津市美術館

☎0250-25-1301  
<http://www.city.niitsu.niigata.jp/>

### 新潟県埋蔵文化財センター

☎0250-23-1142  
<http://www1.ocn.ne.jp/~n-maibun/>

### 新潟県立植物園

☎0250-24-6465  
<http://botanical.greenerly-niigata.or.jp/>